# 明治安田米国
# レベニュー債オープン
# （為替ヘッジなし）
# 愛称：エッセンシャルボンド

## 償還運用報告書（全体版）

＜繰上償還＞

第６期（信託終了日　2026年８月28日）

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2026年８月28日に繰上償還いたしました。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区大手町二丁目３番２号
ホームページ https://www.myam.co.jp/

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク　0120-565787
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2023年９月29日から2026年８月28日（当初、無期限）までです。 | |
| 運用方針 | 投資信託証券を通じて、主として米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券（「以下、レベニュー債」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし） | 「アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」および「明治安田マネープール・マザーファンド」を主要投資対象とします。 |
| | アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） | アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 明治安田マネープール・マザーファンド | 国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への直接投資は行いません。<br>外貨建資産への直接投資は行いません。<br>投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。<br>デリバティブ取引の直接利用は行いません。 | |
| 分配方針 | 年2回（1月、7月の各25日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>②収益分配金額は、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。<br>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 債券組入比率 | 投資信託証券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | （分配落） | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | | |
| | 円 銭 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| ２期(2025年１月27日) | 10,840 | 200 | 0.9 | 0.2 | 99.5 | 3,535 |
| ３期(2025年７月25日) | 10,239 | 180 | △ 3.9 | 0.2 | 99.0 | 3,333 |
| ４期(2026年１月26日) | 11,095 | 190 | 10.2 | 0.2 | 99.2 | 3,590 |
| ５期(2026年７月27日) | 11,554 | 0 | 4.1 | 0.3 | 99.2 | 3,090 |
| (償還時) | (償還価額) | | | | | |
| ６期(2026年８月28日) | 11,083.18 | － | △ 4.1 | － | － | 2,954 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

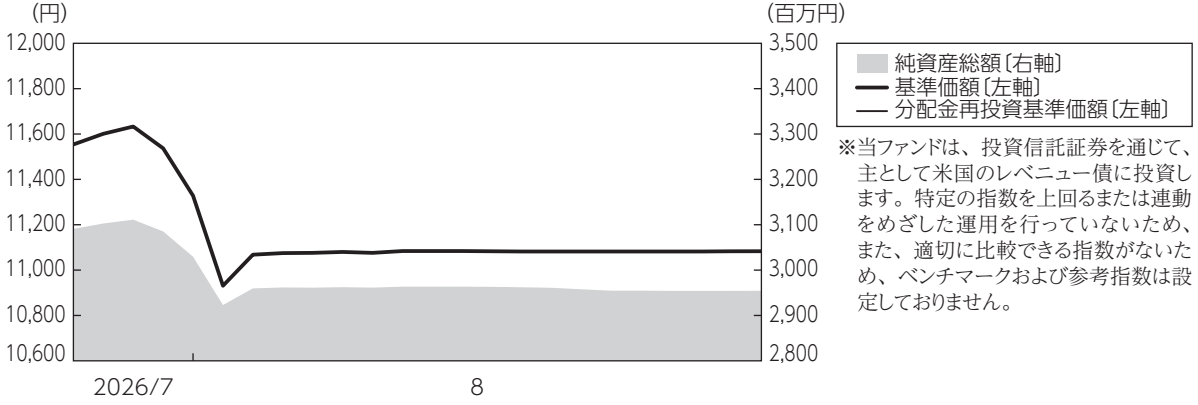
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 債券組入比率 | 投資信託証券組入比率 |
|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | |
| (期首) | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年７月27日 | 11,554 | － | 0.3 | 99.2 |
| ７月末 | 11,328 | △2.0 | 0.3 | 99.2 |
| (償還時) | (償還価額) | | | |
| 2026年８月28日 | 11,083.18 | △4.1 | － | － |

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移




※当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

第6期首（2026年7月27日）：11,554円
償 還 時（2026年8月28日）：11,083円18銭（既払分配金－円）
騰落率：△4.1%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」（以下「投資信託証券」ということがあります。）および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

組み入れている投資信託証券の基準価額が下落したことにより、当ファンドの基準価額も下落しました。

## 投資環境

### 外国債券

当期の米国10年債利回りは、概ね横ばいで推移しました。期首から8月上旬にかけては、堅調な米国景気や底堅いインフレ動向を背景に、高金利環境が長期化するとの見方から利回りは上昇（債券価格は下落）しました。その後は、金融政策に関する見方や経済指標の結果を受けて利回りは一時的に低下（債券価格は上昇）するなど、もみ合う動きとなりました。期を通じては、米国10年国債利回りは概ね4.6%台後半を中心に横ばいで推移しました。

こうした中、レベニュー債市場は、引き続き良好なファンダメンタルズや債券需給に支えられ、概ね横ばいで推移しました。

### 外国為替

当期の米ドルは円に対して下落しました。期首には、日米共同為替介入観測を受けて大幅に円高米ドル安が進行しました。その後は、中東情勢の不透明感や追加介入観測の後退などを背景に円売り・米ドル買いが進行する場面もありました。期を通じては円高米ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

### 明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）

運用方針に基づき、投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

なお、償還を控え、投資信託証券および明治安田マネープール・マザーファンドをすべて売却し安定運用に切り替えました。

### 投資信託証券

投資信託証券の内容については、ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

期首の運用方針に基づき、米国の投資適格のレベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。

なお、繰上償還決議後は保有資産をすべて売却しました。

### 明治安田マネープール・マザーファンド

運用方針に基づき、残存期間が比較的短い国債や政府保証債を主な投資対象とし、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

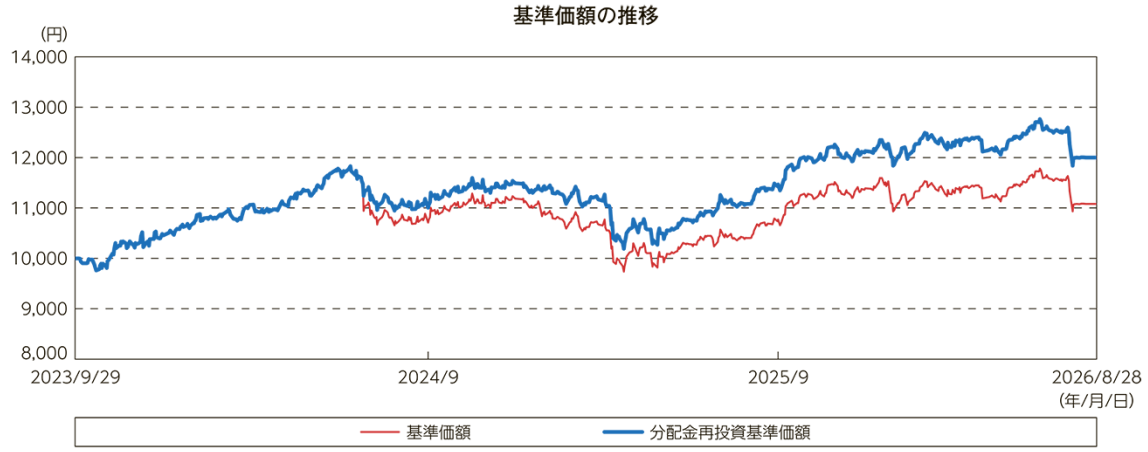
## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## ○設定以来の運用経過

（2023年９月29日～2026年８月28日）

### １．基準価額と収益分配金




※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額は、設定時10,000円で始まり償還日11,083円18銭で終わりました。騰落率（分配金再投資ベース）は＋20.0%でした。設定以来お支払した分配金（税込み）は1万口当たり870円でした。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」（以下「投資信託証券」ということがあります。）および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

（上昇要因）
・保有債券の利息収入が積み上がったこと
・設定時から2024年9月頃にかけて、および2025年5月から2025年10月頃にかけて、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の高まりや利下げ実施を背景に、米国長期金利および米国レベニュー債の利回りが低下し、債券価格が上昇したこと

・2023年末から2024年7月頃にかけて、および2025年4月から2026年7月頃にかけて円安米ドル高が進行したこと

（下落要因）
・2024年9月以降から2024年末頃にかけて、ＦＲＢの利下げペース鈍化観測などを背景に米国長期金利が上昇し、米国レベニュー債の債券価格が下落したこと
・2024年7月から2024年9月頃、および2025年1月から2025年4月頃にかけて、米国の利下げ観測の高まりや米国の景気後退懸念などを背景に円高米ドル安が進行し、為替がマイナスに影響したこと。加えて、2026年7月下旬から8月上旬にかけて日米当局による円買い介入観測を背景に急激に円高ドル安が進行したこと

## ２．運用経過

運用概況

明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）

運用方針に基づき、投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

投資信託証券

投資信託証券の内容については、ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

運用方針に基づき、米国の投資適格のレベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。

明治安田マネープール・マザーファンド

運用方針に基づき、残存期間が比較的短い国債や政府保証債を主な投資対象とし、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

## ○１万口当たりの費用明細

（2026年７月28日～2026年８月28日）

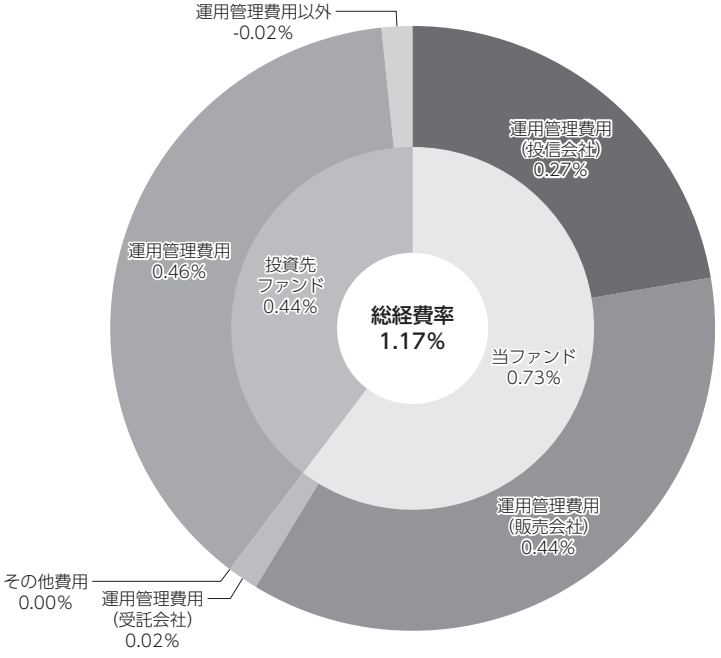
| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 7 | 0.065 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 |
| （投信会社） | (3) | (0.024) | ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価 |
| （販売会社） | (4) | (0.039) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | (0) | (0.002) | ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.000 | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （監査費用） | (0) | (0.000) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合計 | 7 | 0.065 | |
| 期中の平均基準価額は、11,328円です。 | | | |

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）**

**◯総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。




（単位：%）

| | |
|---|---|
| **総経費率（①＋②＋③）** | **1.17** |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.73 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.46 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | -0.02 |

（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
（注）投資先ファンドの運用管理費用以外の比率は、一部費用の戻入による調整額が含まれるため、マイナスで表示しています。

## ○売買及び取引の状況

（2026年７月28日～2026年８月28日）

### 投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 国内 | アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） | 口<br>－ | 千円<br>－ | 口<br>2,799,393,817 | 千円<br>2,941,274 |

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）単位未満は切り捨て。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 明治安田マネープール・マザーファンド | 千口<br>－ | 千円<br>－ | 千口<br>10,008 | 千円<br>10,095 |

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2026年７月28日～2026年８月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2026年８月28日現在）

2026年８月28日現在、有価証券等の組み入れはございません。

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘柄 | 期首（前期末） |
|---|---|
| | 口数 |
| アンカー・ノムラ米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） | 口<br>2,799,393,817 |
| 合計 | 2,799,393,817 |

## 親投資信託残高

| 銘柄 | 期首(前期末) |
|---|---|
| | 口数 |
| | 千口 |
| 明治安田マネープール・マザーファンド | 10,008 |

（注）口数の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2026年８月28日現在）

| 項目 | 償還時 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 2,956,330 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 2,956,330 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況

（2026年８月28日現在）

| 項目 | 償還時 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 資産** | **2,956,330,669** |
| コール・ローン等 | 2,956,098,675 |
| 未収利息 | 231,994 |
| **(B) 負債** | **1,941,392** |
| 未払信託報酬 | 1,927,022 |
| その他未払費用 | 14,370 |
| **(C) 純資産総額（A－B）** | **2,954,389,277** |
| 元本 | 2,665,652,095 |
| 償還差益金 | 288,737,182 |
| **(D) 受益権総口数** | **2,665,652,095口** |
| **１万口当たり償還価額（C／D）** | **11,083円18銭** |

（注1）当ファンドの期首元本額は2,675,061,772円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は9,409,677円です。

（注2）１口当たり純資産額は1.108318円です。

## ○損益の状況

（2026年７月28日～2026年８月28日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 配当等収益** | **1,743,980** |
| 受取利息 | 1,743,980 |
| **(B) 有価証券売買損益** | **△125,334,874** |
| 売買益 | 26,731 |
| 売買損 | △125,361,605 |
| **(C) 信託報酬等** | **△ 1,941,392** |
| **(D) 当期損益金（A＋B＋C）** | **△125,532,286** |
| **(E) 前期繰越損益金** | **364,087,417** |
| **(F) 追加信託差損益金** | **50,182,051** |
| （配当等相当額） | （ 31,588,523） |
| （売買損益相当額） | （ 18,593,528） |
| **償還差益金（D＋E＋F）** | **288,737,182** |

（注1）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2023年９月29日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 投資信託契約終了日 | 2026年８月28日 | | 資産総額 | 2,956,330,669円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 負債総額 | 1,941,392円 |
| | | | | 純資産総額 | 2,954,389,277円 |
| 受益権口数 | 2,988,670,744口 | 2,665,652,095口 | △323,018,649口 | 受益権口数 | 2,665,652,095口 |
| 元本額 | 2,988,670,744円 | 2,665,652,095円 | △323,018,649円 | １万口当たり償還金 | 11,083円18銭 |

毎計算期末の状況

| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | １万口当たり分配金 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第１期 | 3,248,434,121円 | 3,554,963,890円 | 10,944円 | 300円 | 3.0% |
| 第２期 | 3,261,319,697 | 3,535,275,558 | 10,840 | 200 | 2.0 |
| 第３期 | 3,255,896,724 | 3,333,825,282 | 10,239 | 180 | 1.8 |
| 第４期 | 3,236,295,483 | 3,590,665,863 | 11,095 | 190 | 1.9 |
| 第５期 | 2,675,061,772 | 3,090,793,573 | 11,554 | 0 | 0.0 |

## ○償還金のお知らせ

| １万口当たり償還金（税込み） | 11,083円18銭 |
|---|---|

◇償還金は、償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。